



あら 新たな飛翔 ひしゅう めぐ 恵みの杜に築く浪漫の湖 もり きず ろまん みずうみ

盛岡広域振興局土木部築川ダム建設事務所 平成23年6月発行

この度の東日本大震災の被災者の皆様に心よりお見舞い申し上げます。

夏休みイベント「川の生きもの調査 & 付替え道路見学会」を開催します！

築川ダム事務所では、小学生を対象とした川に親しんでもらうためのイベント「**築川ダム 川の生きもの調査 & 付替え道路見学会**」を**今年も8月8日(月)**に開催します。

当日はこのほかにダムの模型実験など、盛りだくさんの内容を予定しています。申し込み方法等は、添付の「イベント案内」を御覧ください。たくさんの方々のご参加をお待ちしています。



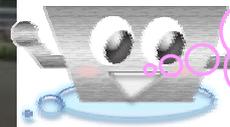
川の生きもの調査

昨年のように

国道9号橋での記念撮影



ダム模型実験



これで夏休みの宿題もバッチリ！

築川ダム建設事業の大規模事業評価、ダムの検証が終了。県の方針は『事業継続』

大規模な予算を伴う築川ダムは、県の政策等の評価に関する条例に基づき、前回評価(平成17年度)から5年経過したことから事業の「必要性」「有効性」「効率性」について有識者などで構成される大規模事業評価専門委員会にて再度、審議されました。

審議は平成22年10月から23年2月の間に計6回行われ、平成23年2月17日に『事業継続』とした県の評価は妥当と認められるとの答申が大規模事業評価専門委員会から示されました。

また、築川ダムは平成21年12月に国土交通省が示した「できるだけダムにたよらない治水」への転換を進めるための検証ダムに区分され、平成22年9月28日に国土交通大臣から岩手県知事に正式に検証要請があったことを受け、県では国が示した検証手法に基づき検証作業を行いました。

検証の結果、総合的な評価としてダムが治水・利水とも最適案であることから県では、築川ダムの対応方針を『事業継続』とし、国土交通省に報告しました。

今後、県の検証結果について、国土交通省で審議し、ダムの補助金交付等に係る対応方針が決定されることとなります。



盛岡市、矢巾町からの意見聴取【ダム検証】



築川流域にお住まいの方々から意見を聴く会【ダム検証】

付け替え道路の構造物点検を実施。異状ありませんでした！

3月11日の東日本大震災では盛岡市で震度5強、4月7日には震度5弱の地震と大きな地震が相次いで発生しました。(盛岡市山王観測所)

築川ダムの付け替え道路は既に規模が大きい構造物が、国道が13橋梁、4トンネル、県道が4橋梁、1トンネル完成しており、事務所では2回の地震発生直後、施設の点検を行い異状がないことを確認しました。今年度は道路改良・舗装、トンネルの照明設備工事を進めています。



付け替え国道2号トンネル付近のようす



付け替え県道8号橋付近のようす

今年も築川にサケの稚魚が放流されました

2/16たくさんの方が集まりました 川目小



大きく育てよ！

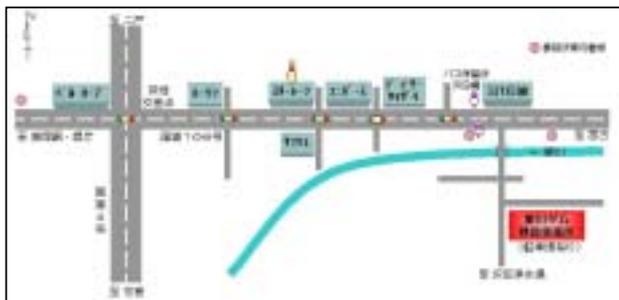
2/23たくさんの方が集まりました 中野小



元気に帰ってきてね！

2月16日、川目小学校の児童と先生のみなさん約50名が学校前の河川敷でサケの稚魚約2万匹を、2月23日、盛岡市立中野小学校の児童と父兄のみなさん約150名が校庭前の河川敷でサケの稚魚約2万5千匹を、放流しました。稚魚は、盛岡河川漁業協同組合が昨年10～11月に築川で成魚を捕まえて採卵し、ふ化させたものです。子供たちが「元気に戻ってきて」との願いをこめて放流すると、稚魚は元気に泳ぎだしていきました。

放流後に行われた漁協組合長への質問では「1匹のサケはどれ位の卵を産むの？」「サケはどうして帰ってくるの？」「帰ってくるのはどれ位？」などの鋭い質問が寄せられ、組合長からは「60cmに成長したものは約3,000個」、「詳しくは解らないが臭覚が発達して自分が生まれた川がわかる」、「帰ってこれるのは放流した1%ほど」との説明がありました。



詳細の情報をお求めの方はホームページでもご覧できます。(「岩手県・築川ダム建設事務所」と検索。)

これからも定期的に皆様方に情報を発信してまいりますので、ご意見やご要望をお寄せ下さい。

〒020-0817 盛岡市東中野字沢田94-1

TEL019-652-8821

受付：月～金 8:30～17:30

FAX019-652-8822

E-mail : BA0011@pref.iwate.jp